【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和1年10月31日(2019.10.31)

【公開番号】特開2018-49042(P2018-49042A)
【公開日】平成30年3月29日(2018.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2018-012
【出願番号】特願2016-182600(P2016-182600)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｆ　9/30　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　29/786　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　21/8234　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　27/088　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　27/08　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/46　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1368　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｆ　9/30　３４９Ｂ
Ｈ０１Ｌ　29/78　６１８Ｂ
Ｈ０１Ｌ　27/08　１０２Ｅ
Ｈ０１Ｌ　27/08　３３１Ｅ
Ｇ０９Ｆ　9/46　Ｚ
Ｇ０９Ｆ　9/30　３６５
Ｇ０２Ｆ　1/1368

【手続補正書】
【提出日】令和1年9月12日(2019.9.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の表示素子と、第２の表示素子と、着色層と、を有し、
前記第１の表示素子は、表示面側に可視光を反射する機能を有し、
前記第２の表示素子は、前記表示面側に可視光を発する機能を有し、
前記着色層は、前記第１の表示素子が反射する第１の光の光路上に位置し、
前記着色層は、赤色、緑色、青色のうち、いずれか二つの光を透過する、
表示装置。
【請求項２】
第１の表示素子と、第２の表示素子と、着色層と、を有し、
前記第１の表示素子は、表示面側に可視光を反射する機能を有し、
前記第２の表示素子は、前記表示面側に可視光を発する機能を有し、
前記着色層は、前記第１の表示素子が反射する第１の光の光路上に位置し、
前記着色層は、シアン、マゼンダ、イエローのうち、いずれか一の光を透過する、
表示装置。
【請求項３】
第１の表示素子と、第２の表示素子と、着色層と、を有し、
前記第１の表示素子は、表示面側に可視光を反射する機能を有し、

前記第２の表示素子は、前記表示面側に可視光を発する機能を有し、
前記着色層は、前記第１の表示素子が反射する第１の光の光路上に位置し、
前記着色層は、シアン、マゼンダ、イエローのうち、いずれか一の光を透過し、
前記第２の表示素子は、赤色、緑色、青色のうち、いずれか一の光を発する、
表示装置。
【請求項４】
第１の表示素子と、第２の表示素子と、第１の着色層と、第２の着色層と、を有し、
前記第１の表示素子は、表示面側に可視光を反射する機能を有し、
前記第２の表示素子は、前記表示面側に可視光を発する機能を有し、
前記第１の着色層は、前記第１の表示素子が反射する第１の光の光路上に位置し、
前記第２の着色層は、前記第２の表示素子が発する第２の光の光路上に位置し、
前記第１の着色層は、シアン、マゼンダ、イエローのうち、いずれか一の光を透過し、
前記第２の着色層は、赤色、緑色、青色のうち、いずれか一の光を透過する、
表示装置。
【請求項５】
請求項２乃至請求項４のいずれか一において、
前記シアンの光は、波長４５０ｎｍの光と、波長５５０ｎｍの光を含み、
前記マゼンダの光は、波長４５０ｎｍの光と、波長７００ｎｍの光を含み、
前記イエローの光は、波長５５０ｎｍの光と、波長７００ｎｍの光を含む、
表示装置。
【請求項６】
請求項１、請求項３、または請求項４において、
前記赤色の光は、波長７００ｎｍの光を含み、
前記緑色の光は、波長５５０ｎｍの光を含み、
前記青色の光は、波長４５０ｎｍの光を含む、
表示装置。
【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれか一において、
第１のトランジスタと、第２のトランジスタと、を有し、
前記第１の表示素子は、前記第１のトランジスタと電気的に接続し、且つ、可視光を反射する第１の導電層を有し、
前記第２の表示素子は、前記第２のトランジスタと電気的に接続し、且つ、可視光を透過する第２の導電層を有し、
前記第１の表示素子は、前記第１のトランジスタ及び前記第２のトランジスタよりも前記表示面側に位置し、
前記第２の表示素子は、前記第１のトランジスタ及び前記第２のトランジスタを挟んで、前記第１の表示素子とは反対側に位置する、
表示装置。
【請求項８】
請求項７において、
前記第１のトランジスタと、前記第２のトランジスタとは、同一面上に設けられた、
表示装置。
【請求項９】
請求項７または請求項８において、
前記第１のトランジスタ及び前記第２のトランジスタは、チャネルが形成される半導体に金属酸化物を含む、
表示装置。